

映画 イグナシオ・フェレーラス監督

しわ

配給 スタジオジブリ



物語

かつて銀行に勤めていたエミリオは、認知症の症状が見られるようになり、養護老人施設へと預けられる。同室のミゲルは、お金にうるさく抜け目がない。食事の時のテーブルには、面会に来る孫のためにバターや紅茶を貯めている女性アントニアや、アルツハイマーの夫モデストの世話を焼く妻ドロレスらがいる。

施設には様々な行動を取り、様々な思い出を持つ老人達が、日々の暮らしを送っている。そして重症の老人は2階の部屋へと入れられることがわかる。

エミリオはある日、モデストと薬を間違えられたことで、自分もアルツハイマーであることに気づいてしまう。ショックで症状が進行したエミリオは2階へ送られる日も遠くない。そんなエミリオのことを思い、ついにミゲルはある行動に出るのだった。

俺たちはきつと大丈夫だよ。



大変申し訳ありませんが「しわ」には吹き替え版がなく、字幕での上映となります。

あのスタジオジブリが贈る 世界的に高齢化する社会問題を描き 数々の賞に輝いた名作です。

11/24 (月)

勤労感謝の日振替休日

うるま市民芸術劇場 橙ホール

映画上映 午後1時～

笑いヨガ 午後3時～

主催: 沖縄県グループホーム連絡会

公益社団法人 認知症の人と家族の会 沖縄県支部/ 沖縄県小規模多機能居宅連絡会/

後援: 沖縄県認知症介護指導者会/ 公益財団法人 介護労働安定センター 沖縄支部 /

NPO法人 介護と福祉の調査機関おきなわ/ 株式会社タイム・エージェント/ エーザイ株式会社